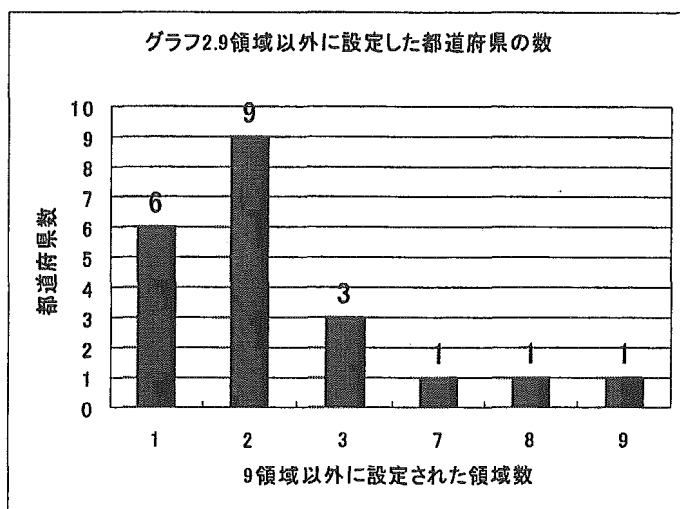


ていたのは、富山県で 18 にも及ぶ(数値目標が設定されていない領域を含む)。続いて石川県の 16 領域であった。計画書自体がない島根県を除いて、逆に最も少ない領域数だったのは福井県と静岡県 の 5 であった。ちなみに全都道府県の領域数の平均は 9.21 であった。

このように各都道府県で領域数が異なるのは、領域の設定の仕方が異なるためである。例えば国では「休養・こころの健康づくり」として 1 つの領域になっているものを富山県のように「休養・こころの健康」と「こころの病気」というように複数に分けて設定している場合があり、必然的に領域数の総数も増加する。秋田県などでは、「休養」「心の健康づくり」「自殺予防」と 3 つにも分け、きめの細かい対応をしようという意欲が窺える。このような同一領域を分割して、複数の領域を設定することを「上乘せ」とするならば、都道府県独自に領域を設定する「横だし」も多く見られる。国の 9 領域以外に独自領域を設定しているのは実に 21 都道府県にも及ぶ(グラフ 2 参照)。最大は茨城県の 9 領域である。同県は、保健に直接的関係があるものだけではなく、まちづくり(「交通安全対策」「ひとにやさしい住宅づくり」など)や医療体制の整備(「安心できる医療」)にまで言及しており、総合的な取り組みをみせている。



茨城県以外の都道府県の 9 領域以外に設定された領域(以下「独自領域」と呼ぶ)を整理すると表 1 のようになる。

表 1. 独自領域の領域名と数

数	領域名
4	高齢者関連、母子保健 生活習慣病
3	健診、健康づくり
2	アレルギー、健康チェック、歯周病、 骨粗鬆症、肝疾患、骨折、リハビリ、 環境保健、いきがづくり

(1 つの都道府県でしか挙げられていない領域については割愛した。詳しくは末尾につけた目標値一覧を見ていただきたい。ちなみに独自領域の総数は 33 である)

近年、関心の高い分野である高齢者、母子領域をターゲットにした領域設定が見られる。特に愛知県では「健やか親子」計画を健康日本 21 の中に記載しており、1 つの領域として

扱っている。このように、一人一人の健康という目的の実現のためには他の計画領域との関連が不可欠となる。また、それと併せて国の目標で領域としては触れられていない日頃の健康行動を促進するために、健康チェックや健康づくりといった領域を取り上げている都道府県もあった。総合的な取り組みが今後も広がっていくのではないかと考えられる。

ii) 領域ごとの目標数

表 2 に国の目標の数ⁱⁱⁱと都道府県の目標の平均数^{iv}の領域ごとの分布を示す。数の上では、ほぼ国計画の中で領域ごとに示された目標値の数と都道府県で設定された目標値の平均数は一致している。ただし、循環器やがんにおいては両者の数にはやや乖離がみられる^v。

領域ごとの目標値の数の比較では「栄養・食生活」が最も多い。ついで「がん」「歯の健康」「循環器疾患」と続いている。「たばこ」や「アルコール」は相対的に数が少ないようである。これは国の目標値の数の傾向とも一致している。

表 2. 9 領域の国と都道府県計画における目標値の数の比較

	栄養	運動	精神	たばこ	酒	歯	糖尿病	循環器	がん
国	16	6	4	4	3	12	7	14	17
県	15.5	7.2	6.7	6.5	4.3	11.9	6.7	10.1	12.9

iii) 目標値比較

目標値のうち国のものと都道府県それぞれのものとは、どれだけ一致しているのであろうか^{vi}。代表的な目標をいくつか抜き出して、国との目標値に違いはあるのかについて見てみよう。まず 38 都道府県が「栄養・食生活」領域でとりあげた「1日あたりの平均食塩摂取量の減少」という目標を例に挙げる。国の目標値は 10.0g 未満である。これに対して都道府県計画では 10.0g 未満、または 10.0g 以下としている都道府県が 35 ある。沖縄県(9.0g)と宮城県(12.5g)、長野県(13.0g)だけがそれ以外の目標値を設定している。ちなみに、一番慎重な目標値を設定した長野県の現状値は、14.9g であり現状値が記載されている中では全国最下位となっている。沖縄の場合は 15 歳から 70 歳の男性を対象にしており、現状値は 10.6g となっている。続いて「アルコール」領域の「未成年者の飲酒をなくす」でも 38 都道府県が目標を設定している。この中で「なくす」という表現を 0%にするという数値目標として読みかえると、全ての都道府県で目標値は 0%となる。これは未成年者の喫煙が法律で明確に禁じられていることを反映してのことと考えられる。同様に「たばこ」の「未成年者の喫煙をなくす」では、41 都道府県が目標としてとりあげているが、「減らす」とした島根県以外は 0%を目標としている。

一方で、同じ目標でもばらつきが見られたものは、高齢者の歯の保有本数についての目標である。国では「80 歳における 20 歯以上の自分の歯を有する者の割合及び 60 歳にお

る 24 以上の自分の歯を有する者の割合の増加」となっているが、「65 歳で 25 本以上」(埼玉県)や「50 代 25 本以上 30 代 25 本以上」(鳥取県)「40 歳 27 本以上 70 歳 15 本以上」(島根県)といった各地で異なる目標の設定がみられた。しかし全体的に国と同じ目標を設定する場合には、国の目標値に準じて設定をする傾向がみられる。

他では、マンパワーに関する記載が多いように思われた。例えば「栄養・食生活」で国の計画では「地域、職域で、健康や栄養に関する学習や活動を進める自主グループの増加」にとどまっているが、県レベルではより具体的な記載がされている。「市町村の栄養士」が 12 県で一番多く、他にも市町村保健婦や食生活推進員、健康推進員、給食施設栄養士など具体的な記載が目立っている。他にも「休養・こころの健康」においても心の相談窓口をはじめとして、制度的な環境整備が具体的に記載されているところが多い。

iv) 目標一独自目標

各都道府県の目標を見ると、かなり多様である。例えば、地域の特色を生かしたものとしては「三重の食を自慢できる人の増加」(三重県)、「意識して地場産品を利用する人の割合」(鹿児島県)「60 及び 80 歳で郷土の名産を不自由なく食べている人の割合の増加」(山形県)などがある。他にもまちづくり

3.まとめ

出揃った計画をみると、今までの行政による計画とは異なり全体的に明確に目標を数値化しているところが目立つ。政策や計画に透明性や効率性を高めることが望まれている社会的な要請を反映している面もあるが、計画の実効性を高めるためには有効なことである。ただ、掲げた目標値をいかに達成するかについては、今後の中間評価や最終的な評価を通じてよりよい計画づくりを目指して検討していく必要があるだろう。

特に環境整備についての目標では、まず先にどのような体制で計画の執行過程を支えていくのかという青写真が描けなくてはならない。環境についての目標は国レベルでのものよりも充実しているように思われる。

ⁱ健康日本 HP より

(http://www.kenkounippon21.gr.jp/kenkounippon21/about/intro/index_menu1.html)

ⁱⁱ <http://www.wah.pref.shimane.jp/Contents/7D045B1112DC/kts41.htm> 参照

ⁱⁱⁱ 例えば「がん検診受診者の増加」という場合には、全体で 5 割増という目標だけではなく、その下位目標ともいえるそれぞれのがんごとの数値目標もカウントしている。

^{iv} 目標には様々なレベルがあるが、ここでいう目標とは、①各論中のそれぞれの領域についての文章中で記載されているもの、もしくは計画書中に目標値の一覧が記載されている

場合はその中で記載されているものであり、②目標値を必ずしも伴ってはいない③目標のレベルでは最も下位のものである。これを新潟県を除いた都道府県の数 46 で割った。がんや循環器の領域では目標値中に「たばこの部分参照」「アルコールの部分参照」といった記述が多くみられたが、ここでは分析の便宜上 1 つの目標値としてカウントしている。そのため実際の目標値はもっと多いことが推測され、国計画での目標とほぼ一致するのではないかと推察される。

vi 目標は各県で同一の目標を目指すものであっても、表現が異なる場合がある(例・「朝食をとる人の割合の増加」＝「朝食をとらない人の減少」)が、「国の目標と同じ」という場合はあくまで国と同一の表現であるときに限っている。

- 1.本資料は厚生労働科学研究「健康日本21計画の改訂と改善に資する基礎研究」の一環として作成されたものである。全都道府県の健康日本21地方版を基に、ベースラインデータと目標値を表にまとめた。
- 2.資料の製作には万全を期しているものの、詳細は全都道府県の計画書を参照されたい。
- 3.現時点で最新のものを使用したつもりであるが、資料中で基準値などが調査中となっている場合でも計画策定から現在までの間に数値が設定され、反映されている場合も考えられる。全都道府県の計画書を参照されたい。

◆資料を読む上での注意点

- 1.目標値欄にある〇〇歳上とは以上という意味である。
- 2.小数点で表されている数値は百分率である。(例.55.2=55.2%)
- 3.→の前にはベースラインデータ(基準値)の値、後ろには目標値が記載されている。(55.2→80.0以上=基準値55.2%を目標値80.0%以上に上昇させるという意味)
- 4.「不明」とは具体的に数値が挙げられていないことを示す。
- 5.目標に関しては各県で全く同一のものでなくとも、類似した表現であると判断した場合には同じ目標とみなして数値を記載した。

年度	計画名	領域数	領域名1	領域名2	領域名3	領域名4	領域名5	領域名6	領域名7	領域名8	領域名9
北海道	すこやか北海道21	10	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養/4.メンタルヘルス	6.たばこ	7.アルコール	5.歯と口腔	8.糖尿病	9.循環器系疾患	10.がん
青森	健康あおもり21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.こころの健康づくり(自殺予防対策)	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
岩手	健康いわて21プラン	11	2.栄養	3.身体活動	11.こころ/12.自殺	4.喫煙	5.アルコール	6.歯科保健	9.糖尿病	8.循環器疾患	7.がん
宮城	みやぎ21健康プラン	8	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.心の健康	4.たばこ	5.アルコール	6.歯科	7.糖尿病	10.脳血管疾患(脳卒中)/11.心疾患	8.がん
秋田	健康秋田21計画	12	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.4.心の健康づくり/5.自殺	6.たばこ	7.アルコール	8.歯の健康	9.糖尿病	10.脳血管疾患(脳卒中)/11.心疾患	12.がん
山形	ゆとり山形健康づくり21行動計画(健康文化やまがた21)	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	8.歯の健康	8.糖尿病	7.循環器病	6.がん
福島	健康ふくしま21計画	9	2.栄養・食生活	3.身体活動・運動	4.休養・こころの健康	1.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
茨城	健康いばらき21プラン	13	3.食生活	4.運動	2.休養・こころの健康	5.喫煙・飲酒・薬物					
栃木	とちぎ健康21プラン	9	1.栄養・食生活	2.運動・身体活動	3.休養・こころの健康	4.喫煙	5.飲酒	6.歯の健康	9.糖尿病	7.脳卒中・心臓病	8.がん
群馬	元気県ぐんま21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.喫煙(たばこ)	5.飲酒(アルコール)	6.歯と口の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
埼玉	すこやか彩の国21プラン	6	1.食生活	2.身体活動	3.休養	4.歯科保健	5.アルコール	6.たばこ			
千葉	健康ちば21	11	1.栄養・食生活	2.身体的活動・運動	3.休養・心の健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
東京	東京都健康増進プラン21	7	2.栄養・運動・休養			3.たばこ・アルコール	5.歯と口腔の健康づくり		1.循環器・糖尿病・がん		
神奈川	かながわ健康プラン21	7	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり 5.ストレスに重点を置いたこころの病の一次・二次予防/6.自殺	4.たばこ	5.アルコール	9.歯の健康			
新潟	健康にいがた21	13	3.栄養・食生活	4.運動	2.たばこの問題	7.アルコール依存症	11.歯科疾患	10.糖尿病	9.循環器疾患	8.がん	
富山	新県民ヘルスプラン	18	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.たばこ	5.アルコール	9.歯科疾患	8.糖尿病	7.循環器病	6.がん
石川	いしかわ健康づくり21	16	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.喫煙	5.飲酒	15.歯科保健	12.糖尿病	11.循環器疾患	10.がん
福井	福井アクティブ90ヘルスプラン	5	1.栄養	2.身体活動	3.休養・こころの健康	4.喫煙	5.飲酒	(県生涯前科保健計画に記載)			
山梨	健やか山梨21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
長野	健康グレードアップながの21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.こころの健康	6.たばこ	4.アルコール	5.歯の健康	9.糖尿病	7.脳卒中・虚血性心疾患	8.がん
岐阜	ヘルスプランぎふ21	9	4.食生活・栄養	5.身体活動・運動	6.休養・こころの健康	7.たばこ	8.アルコール	9.歯の健康	3.糖尿病	1.脳血管疾患・心疾患	2.がん
静岡	しずおか健康創造21	5	1.食生活	2.運動	3.休養・こころ	4.たばこ・アルコール・薬物	5.歯				
愛知	健康日本21あいち計画	10	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器疾患	9.がん
三重	ヘルシービーブルみえ21	11	3.栄養・食生活	4.身体活動・運動	5.休養・こころの健康づくり	6.たばこ	7.アルコール	8.歯の健康	9.糖尿病	10.循環器病	11.がん・健康指標
滋賀	健康いきいき21-健康しが推進プラン	11	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
京都	きょうと健やか21	12	1.栄養・食生活	2.運動・身体活動	3.休養・こころの健康	5.たばこ	6.飲酒	4.歯の健康/13.歯周病	8.糖尿病	7.循環器疾患	11.がん
大阪	健康おおさか21	6(9)	1.栄養・食生活の改善	2.運動・身体活動	3.こころの健康づくり	4.たばこ対策	6.歯の健康づくり・多量飲酒者の減少				
兵庫	健康ひょうご21	10	3.食の健康		4.こころの健康	5.たばこ	6.アルコール	7.歯の健康	8.糖尿病の予防	9.循環器病の予防	10.がんの予防
奈良	健康なら21	9	1.食生活と栄養	2.身体活動と運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
和歌山	元気わかやま行動計画	9	1.栄養・食生活	2.運動・身体活動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
鳥取	健康とっとり計画	8	1.健康増進		6.こころのケア	3.生活習慣病対策(たばこ)	4.生活習慣病対策(アルコール)	8.歯科保健	2.生活習慣病対策(糖尿病・循環器病・がん)		
島根	健康長寿しまね	未設定									
岡山	健康おかやま21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
広島	健康ひろしま21	10	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯・口の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
山口	健康やまぐち21基本計画	11	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	5.たばこ	6.アルコール	4.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器疾患	9.がん
徳島	健康徳島21	6						6.歯科疾患	4.糖尿病	2.心疾患/3.高血圧・脳卒中/5.高脂血症	1.がん
香川	健やか香川ヘルスプラン21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	4.こころの健康	5.喫煙	6.飲酒	3.歯の健康		7.生活習慣病	
愛媛	健康実現えひめ2010	10	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	5.たばこ(喫煙)	6.アルコール(飲酒)	4.歯の健康	8.糖尿病	9.循環器病	10.がん
高知	よさこい健康プラン21	8	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康		7.生活習慣病の予防	
福岡	いきいき健康ふくおか21	10	1.栄養・食生活	2.運動・身体活動	3.休養・心の健康づくり	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器疾患	9.がん
佐賀	佐賀県健康プラン(歯科に関しては「ヘルシースマイル佐賀21」で規定)	8	1.栄養・食生活	2.身体活動	5.休養・ストレス(心の健康)	3.喫煙	4.飲酒	(「ヘルシースマイル佐賀21」で規定)	6.糖尿病(インスリン非依存性糖尿病を中心として)	8.心疾患・脳血管疾患	7.がん
長崎	健康ながさき21	7	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.こころの健康づくり	4.たばこ	5.飲酒	6.歯の健康づくり	7.生活習慣病対策		
熊本	くまもと21ヘルスプラン	9	2.健康食生活の推進	1.健康運動・生涯スポーツの推進	3.健康休養・こころの健康づくりの推進	5.喫煙対策の推進	6.適正飲酒の推進	4.歯の健康づくり(RO20運動)の	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
大分	生涯健康県大分21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・心の健康	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器疾患	9.がん
宮崎	健康みやざき行動計画21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器疾患	9.がん
鹿児島	健康かごしま21	9	1.栄養・食生活	2.身体活動・運動	3.休養・こころの健康	4.たばこ	5.アルコール	6.歯の健康	7.糖尿病	8.循環器病	9.がん
沖縄	健康おきなわ2010	8	1.栄養・食生活と身体活動	2.休養・こころの健康づくり		4.たばこ	3.アルコール	8.歯の健康	5.糖尿病	6.循環器病	7.がん

領域名の前に付している数字は計画中に出る順番を表している。

都道府県	計画名	その他の領域ID	11	12	13	14	15	16	17	18	備考
北海道	すこやか北海道21										生活習慣の改善1-7生活習慣病の予防8-10
青森	健康あおもり21										
岩手	健康いわて21プラン	1.全体目標	10.不慮の事故								
宮城	みやぎ21健康プラン										
秋田	健康秋田21計画										
山形	ゆとり山形健康づくり21行動計画(健康文化やまがな21)										生活習慣の改善1-5疾病予防の推進6-8
福島	健康ふくしま21計画										
茨城	健康いばらき21プラン	1.健康習慣づくり	6.生きがいづくり	7.健康管理	8.安心できる医療	9.リハビリテーション	10.環境保健	11.ひとにやさしい都市整備	12.ひとにやさしい住宅づくり	13.交通安全対策	1-6みんなで健康づくり(健康増進)7-9肺炎と提議(疾病対策と良食管理)10-13快適で安全な暮らしと健康(生活環境対策)
栃木	とちぎ健康21プラン										
群馬	元気群馬21										
埼玉	すこやか彩の国21プラン										生活習慣の改善1-6生活習慣病の予防7-9
千葉	健康ちば21	10.母子保健	11.環境								
東京都	東京都健康増進プラン21	4.健康づくり支援サービス	6.骨折・転倒	7.高齢者の前にこもり							1-5生活習慣病の予防6-7寝たきりの予防
千葉県	かながわ健康プラン21	7.健康診察									
新潟県	健康にいがけ21	12.高齢者の骨折予防	13.リハビリテーション	1.いきがい・生きる喜び							新潟県は、目標に対して基準値及び目標値を一切設定せず定性的に表現するに止まっている。ここでは「実現目標」として挙げられた項目のみを対象に1-5生活習慣の改善の推進6-14疾病予防の推進15-16健康を支える環境づくりの推進1-5生活習慣改善の推進6-8世代ごとの健康づくりの推進10-16疾病予防の推進
富山県	新県民ヘルスプラン	11.性感染症	13.筋骨格疾患(骨粗しょう症、腰痛等)	13.アレルギー性疾患	14.その他(目・耳皮膚疾患)	15.健康な街づくりの推進	16.情報の提供	17.基礎整備	18.調査研究		
石川県	いしかわ健康づくり21	6.母子の健康づくり	7.青少年の健康づくり	8.壮年の健康づくり	9.高齢者の健康づくり	13.肝機能障害	14.骨粗鬆症	16.精神保健			歯科保健は福井県生涯歯科保健計画にて規定
福井県	福井アクティブ90ヘルスプラン										
山梨県	健康やま21										
長野県	健康グレートアップながの21										
岐阜県	ヘルスプランぎふ21										
静岡県	しずおか健康創造21										
と知県	健康日本21あいち計画	10.健やか親子									「健やか親子」は本計画内の項目として記載されているが、母子保健計画「健やか親子21」の発展に該当する
三重県	ヘルシービーブルみえ21	2.総合(積極的な生活:社会参加の目)	1.わくわく・いきいき...素らかに指標								
滋賀県	健康いきいき21-健康しが推進プラン	10.健診	11.生きがい								
京都府	きょうと健やか21	9.高脂血症	10.肥満・やせ	12.骨粗しょう症							
大阪府	健康おおさか21	5.健診・事後指導の充実									本文中では左記の6領域だが、計画末尾にまとめている目標値一覧では国計画と同じ9領域に整理されている。
兵庫県	健康ひょうご21	1.健康チェック	2.からだの健康								県保健医療計画の一部として記載
奈良県	健康なら21										
和歌山県	元気わかやま行動計画										
鳥取県	健康とっとり計画	7.アレルギー性疾患対策	5.寝たきり予防								健康増進は栄養・食生活、身体活動、こころの健康の3つから成り、生活習慣病は循環器病、糖尿病、がん(ただし、アルコールから成る癌については、健康増進計画で記載された目標値は、健康増進計画の目標値として記載されている。また、健康増進計画の目標値として記載されているが、健康増進計画の目標値として記載されていない「行動指針」として目標が掲げられているため、これ、生活習慣病の中に小項目(がん、脳血管疾患、心疾患、高血圧、糖尿病、高脂血症、認知症)を
徳島県	健康ながしまね										
山梨県	健康おかやま21										
鳥取県	健康ひろしま21	10.アレルギー									
山口県	健康やまぐち21基本計画	10.母子保健・女性の健康	11.高齢者の健康								
島根県	健康島根21										左の他に、他の領域として「栄養・生活」「健康増進」などが挙げられていたが、領域名について本文中の名称と末尾の指標のまとめの中での名称が異なっており、また現状についての数値(基準値)は記載しながらも目標値を記載していない。「行動指針」として目標が掲げられているため、これ、生活習慣病の中に小項目(がん、脳血管疾患、心疾患、高血圧、糖尿病、高脂血症、認知症)を
川根県	健やか香川ヘルスプラン21	8.リハビリテーション	9.身近な健康施策								
徳島県	健康実現えひめ2010	7.性の健康	11.事故と骨折	12.健康チェック・各種健康							
岐阜県	よさこい健康プラン21	8.こどもの健康									
岐阜県	いきいき健康ふくおか、佐賀県健康プラン(歯科に関しては「ヘルシースマイル佐賀21」で規定)	10.肝疾患									「こどもの健康」はさらに「栄養・食生活」「身体活動・運動」「歯の健康」「たばこ・アルコール」「人工妊娠中絶・性感染症」「予防接種」に分けられてい
岐阜県	健康ながさき21										
ト県	くまもと21ヘルスプラン										
ト県	生涯健康県大分21										
ト県	健康みやぎ21行動計画										
ト県	健康かごしま21										
ト県	健康おきなわ2010										

栄養・食生活

項目	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
	栄養・食生活									食生活							食生活
栄養成分表示がされた食品の利用者の数																	
栄養成分表示がされた食品の数																	
栄養成分表示を及等の適量と判断するために活用している人																	
集団・多岐給食施設のうち事業所等での栄養成分表示の増加																	
食品を選んだり食事をするのに困らない知識や技術がある人の増加																	
食品売場で食品選択情報を提供する食品販売員数																	
外食料理栄養成分表示店の増加																	
自分の嗜好や料理を維持するための必要な栄養成分を知っている人の割合	男65.6女73.0→80.0以上																
自分にとって適切な食事内容・量を理解している者の割合の増加																	
標準体重に近づけるよう、あるいは維持しようとしている人の増加																	
自分の栄養所要量を知っている人の増加																	
ヘルシーメニューを提供している店の増加																	
ヘルシーメニューを利用する人の割合																	
栄養表示店舗数																	
ヘルシーメニュー、郷土料理、栄養成分表示の提供の増加																	
ヘルシーメニューを提供している弁当・惣菜店の割合																	
職域等における給食施設において健康に配慮した食事を提供する施設の増加																	
健康づくり協力店																	
外食選択基準の提供数の増加と利用者の割合																	
栄養成分表示に協力する施設を増やした店舗の増加																	
全飲食店の20.0以上を外食栄養成分表示店とする																	
料理の栄養成分表示及び健康に配慮した食事を提供するレストランや食堂の数																	
地域・業界・団体・学校・企業・市民等が連携して健康づくりを推進している事例の増加																	
栄養・食生活(特に適量)に関する健康講座を実施している市町村の増加																	
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の開催市町村																	
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の参加者数																	
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の提供の割合																	
学習機会に参加する人の割合																	
学習機会の回数																	
市町村保健センター(類似施設を含む)整備市町村数																	
広報誌などによる栄養・食生活に関する啓発をする市町村																	
保健者への栄養・運動指導実務研修会																	
地域における食に関する指導者の栄養生活に関する学習の機会を増やす																	
食生活に関する情報提供の機会を増やす																	
食品に関する情報提供機会の整備、利用者の数																	
食生活や栄養に関する相談の場を提供している市町村数																	
専門家による栄養指導を受けたことのある人																	
栄養診断のできる市町村数																	
栄養診断が健康や栄養に関する相談の場(健康教室等)で行われる市町村数																	
健康づくりボランティア団体の市町村組織数																	
食のNPOの配備																	
健康に関する自主的な集まりがある人の割合																	
県の義務を支えてきた食生活を次代へ伝える機会と協力団体の数、参加者の数																	
健康づくりのための食生活住民ボランティア団体数の増加																	
健康や栄養に関する学習や活動を進める自主グループに参加する人の数																	
健康に対して関心のある人の割合																	
健康に関する情報を収集する人の割合																	
健康づくり講座等に参加する人の増加																	
市町村栄養士の配備																	
特別給食施設栄養士の配備																	
その他の給食施設への管理栄養士の配備																	
母子保健推進員																	
市町村保健婦																	
健康推進委員の増加																	
食生活改善推進員団体連絡協議会の発足の増加																	
食生活改善推進員を設ける市町村数の増加																	
食生活改善推進協議会を設ける市町村数の増加																	
食生活改善推進員の数																	
食生活改善推進員の養成																	
食生活改善推進員の伝達講習会																	

栄養・食生活

項目	栄養・食生活	生活	教育	健康	環境	生活	生活	生活	生活	生活	生活
食生活改善推進員の活動を受ける人											
ヘルスポーター養成講習会開催市町村											
市町村保健センターを整備している市町村											
科学的な情報を収集・蓄積・提供できる機関の設置											
食育を実施する園及び学校の増加											
教育における食に関する指導者の割合											小学692中学308→1000
行事食や家庭の味を伝えている人の割合											209→700以上(ふるさと味伝承士数48人→158人)
登録して地域産品を利用する人の割合											
県内産物を使用した食品数											64製品→120製品
3:3:30運動を知っている人の増加											
三食の量を自覚できる人の増加											
20歳代女性の骨量											
骨粗鬆症の予防に留意する者											
骨密度の正常域の者の割合											20歳代女684→900
貧血者の減少											
血清コレステロール高値者の減少(240mg/dl以上)											
中性脂肪高値者の減少(150mg)											
高血圧(血圧SCORE2以上)者の割合											40歳上男16.7→10.0女11.4→7.0
高血圧の者											
高コレステロール(220mg/dl以上)者の割合											
高コレステロール(21mg/dl以上)者の割合											男17.4→10.0女30.7→20.0
脳血管疾患年齢調整死亡率の減少											
高血圧年齢調整死亡率の減少											
心疾患年齢調整死亡率の減少											
健康寿命の延伸											
40-64歳における生活習慣病死亡率の減少											
糖尿病年齢調整死亡率の減少											
高脂血症の減少											
脳卒中死亡者の減少											
心疾患死亡者の減少											
糖尿病有病者の減少											
がん死亡者の減少											
かかりつけ医による栄養・食生活に関する保健指導											
有人農産物直売所数											258→所→280ヶ所
有機農産物認証面積											242ha→2000ha

栄養・食生活

項目	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
①総世帯の割合	男20-60歳代 302-200以下 60歳代22.1-17.0以下	男20-60歳代4.8女40-60歳代20.1-減らす	男21.2女 16.7-15.0以下		20-60代男 306-250以下 40-60女 23.9-20.0以下		男11.0-10.0女 12.2-11.0(6M422を 100として120以上 の者)	19.0-12.0以下	男25.4女23.7-20.0以下	男20-60代27.0-15.0 以下40-60代 26.7-20.0以下	
②肥満が気になる											
性・年齢階級別標準体重者の割合											
③消費・生産の増減の割合	10.5-7.0以下	小4男5.6女3.9-減らす 中1男4.0女2.9-減らす			7.4-3.0以下				7.02-5.0以下	小2.7中1.7-減少	児童2.1-1.6以下
④おやめ・おやめ・おやめ	女20代32.6-20.0以下	女20代30.8-減らす			女20代 28.2-15.0以下				20-60代男32.2-20.0 以下40-60代女 27.0-20.0以下	女20歳代15.3-15.0以下	20代女21.5 30代女 19.3-15.0以下
⑤脂肪エネルギー比率の増減	20-40代27.0-25.0以下	1歳以上27.9-25.0以下	27.0-25.0以下		20代27.3 30代 27.7 40代 25.4-25.0以下		23.8-20.0-25.0に 保つ	27.2-25.0以下	25.9(女27.0)-25.0以下	20-40歳27.0-25.0以下	27.5-25.0以下
脂肪エネルギー比率が適正な人の割合		1-17歳32.5 18歳以上 24.7-増やす									
脂肪エネルギー比率が適正でない人の割合											
脂肪エネルギー比率が5%以上の者											
脂肪エネルギー比率が30%を超えている人の減少											
2割以上エネルギーの過剰摂取をしている人の減少											
脂肪エネルギー比率20-25%の人の割合を増やす											
⑥たんぱく質の摂取量の増減	13.6g-10g未満	12.4g-10g未満	12.5g-10g未満		13.1g-10.0g未満	13.0g-10g以上	12.6g-10.0g以下	13.8g-10.0g未満	14.9g-13.0g以下	12.0g-10.0g以下	40代13.7g60代 14.2g-10.0g未満
たんぱく質10g未満の人の割合		15-69歳35.0-増やす									
たんぱく質10g以上の人の割合											
たんぱく質10g以上の人の割合											
たんぱく質10g以上を越える世帯											
たんぱく質の目標摂取量を知っている者											
たんぱく質に努めている人の割合											
たんぱく質の普及、啓発を実施する市町村数の増加											
⑦カルシウム摂取量											
カルシウム不足(55g未満)の人の割合											
1日に今より1gカルシウムを多くとる人を増やす											
鉄が足りない人(鉄充足率90%以下)の割合											
⑧カルシウムに最も貢献する食品の摂取量の増減	牛乳・乳製品96g-130g以上、豆類74g-100g以上、緑黄色野菜116g-120g以上	牛乳・乳製品100g-150g以上、豆類71g-100g以上、緑黄色野菜107g-120g以上	牛乳・乳製品114g-130g以上、豆類68g-100g以上、緑黄色野菜90g-120g以上		牛乳・乳製品100g-130g以上、豆類90g-100g以上、緑黄色野菜92g-120g以上			牛乳・乳製品98g-130g以上、豆類73g-100g以上、緑黄色野菜128.4g-150g以上		牛乳・乳製品89.6g-130g以上、豆類80.9g-100g以上、緑黄色野菜102.4g-120g以上	牛乳・乳製品101g-130g以上、豆類68g-100g以上、緑黄色野菜89g-120g以上
カルシウム摂取量											
カルシウム摂取量が適正である者								57.6-60.0			
カルシウム充足率		1歳以上87.0-100.0					95.0-100.0 充足率80%未満の人の割合 39.3-20.0				
カルシウム600mg以上取る人の割合を増やす											
カルシウム充足率80%未満の者の減少											
カルシウム不足の人の割合											
カルシウム不足世帯の減少									46.3-39.0		
1日カルシウム所要量を知っている											
緑黄色野菜を毎日摂取する者の割合											
緑黄色野菜不足(120g未満)の人の割合											
緑黄色野菜を食べるよう心がける人の割合の増加											
緑黄色野菜のがん予防効果を知っている者											
⑨野菜の摂取量の増減	319g-350g以上	306g-350g以上	266.9g-350g以上		315g-350g以上	280.7g-350g		350g-400g以上	374g-1100g維持20代男226g女 261g30代男267g女277g40代男 278g女305g-350g以上	300.9g-350g以上	294g-350g以上
野菜の摂取量350g以上の者の増加											
野菜類の摂取が少ない人(50g未満)の割合											
野菜をたっぷり使った料理を1日2食以上食べる者の割合											
新鮮な野菜の摂取を増やす											
一日に二回以上野菜料理を食べる人の割合											
毎日野菜を摂取する子供の割合											
野菜類を食べない子供の割合											
⑩動物類摂取量										20代男33g女70g30代男47g女 59g40代男55g女109g-100g	
毎日動物を食べる人の割合						71.4-60.0以上					
毎日動物を食べない人の割合											
乳・乳製品の摂取量(1人1日当たりの平均)											
乳・乳製品を毎日摂取していない人の割合											
豆類摂取量							72.2g-増加				
ごはんなどの穀類をしっかり食べる人の割合											
米の摂取量の増加											
穀物の摂取量(1人1日当たりの平均)											
平均穀物エネルギー比											
魚介類を毎日食べる人の割合の増加											
魚介類の摂取量の増加											
新鮮で安全が保証された県産水産物を食べる人の増加											
⑪学齢期おやつエネルギー摂取											
エネルギー摂取量の充足率									109.7-100.0に近づける		
エネルギー充足率120%以上の者の減少											
エネルギー充足率110%以上の者の割合減少											
適正なエネルギーをとる											
動物性たんぱく質比											
たんぱく質摂取量(1日あたり所要量)までの摂取量											
食物繊維											
食物繊維を20%以上とる人の割合											
食物繊維摂取量を充足している世帯											
食物繊維の摂取量ががん予防効果を知っている											
⑫お茶の摂取										1284g-1500g以上	

栄養・食生活

項目	数値	単位	備考	数値	単位	備考	数値	単位	備考	数値	単位	備考	
栄養成分表示がされた食品の利用者の数												基準値なし(今後調査)→増加	
栄養成分表示がされた食品の数												基準値なし(今後調査)→増加	
栄養成分表示を食事の選定を判断するために活用している人												基準値なし(今後調査)→増加	
集団・多量給食施設のうち事業所等での栄養成分表示の増加													
食品を売ったり買ったりを魅えるのに困らない知識や技術がある人の増加													
食品売場で食品選択情報を提供する食品販売業者数													
外食料理栄養成分表示店の増加	男235女493	→増やす		120店	→500店		増やす					基準値なし(今後調査)→増加	81→500
※病気の進行や予防をするための食事療養を補助し、食事の割合の増加	男46.1女54.3	→60.0以上		理解できる								不明→10.0増加	
自分にとって適切な食事内容・量を理解している者の割合の増加				71.4	→増やす								
標準体重に近づけるよう、あるいは維持しよう心がけている人の増加													
自分の栄養所要量を知っている人の増加													
※標準体重を知る経路(例えば、健康診断、健康相談、健康講座、健康相談、健康相談)の増加	増やす											不明→増加	基準値なし(今後調査)→増加
ヘルシーメニューを利用する人の割合													不明→増加
栄養表示店舗数													180店→1000店
ヘルシーメニュー、郷土料理、栄養成分表示の提供の増加													
ヘルシーメニューを提供している弁当・惣菜店の割合													
健康等における給食施設において健康に配慮した食事を提供する施設の数													
健康づくり協力店													
外食選択基準の提供数の増加と利用の促進													
栄養成分表示に協力する施設を増やす													
栄養成分表示をした施設を利用する人を増やす													
全飲食店の20.0以上を外食栄養成分表示店とする													
料理の栄養成分表示及び健康に配慮した食事を提供するレストランや食堂の数													
※形質(年齢、性別や栄養に関する情報の提供)の割合を増やし、それに要する食料(若年層)の増加	増やす												
栄養・食生活(特に高齢)に関する健康教育を実施している市町村の増加													
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の開催市町村													
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の参加者数													
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の提供の機会													
学習機会に参加する人の割合												不明→増加	
学習機会の回数													
市町村保健センター(類似施設を含む)数													
広報紙などによる栄養・食生活に関する啓発をする市町村													
喫煙者への栄養・運動指導実施施設数													
教室における食に関する指導の割合													
食生活に関する学習の機会を増やす													
食生活に関する情報提供の機会を増やす													
食品に関する情報提供機会の整備、利用者数													基準値なし(今後調査)→増加
食生活や栄養に関する相談の場を提供している市町村数													
専門家による栄養指導を受けたことのある人													
栄養相談の件数市町村数													
※形質(年齢、性別や栄養に関する情報の提供)の割合を増やし、それに要する食料(若年層)の増加	増やす											不明→増加	
健康づくりボランティア団体の市町村組織結成率													
食のNPOの配備													
健康に関する自主的な集まりがある人の割合				9.8	→増やす								
県の長寿を支えてきた食生活を次代へ伝える機会と協力団体の数、参加者の数													基準値なし(今後調査)→増加
健康づくりのための食生活住民ボランティア団体の増加													
健康や栄養に関する学習や活動を進める自主グループに参加する人の増加													292→32.0以上
健康に対して関心のある人の割合													
健康に関する情報を収集する人の割合													
健康づくり推進員に参加する人の増加													
市町村栄養士の配備													400→増やす
民間給食施設栄養士の配備率													51市町村→70市町村
その他の給食栄養士の配備率													
全集団給食施設への管理栄養士の配備													
母子保健推進員													
市町村保健師													
健康推進委員の増加													
食生活改善推進員団体連絡協議会の会員数の増加													
食生活改善推進員を設ける市町村数の増加													
食生活改善推進協議会を設ける市町村数の増加													
食生活改善推進員の数													6191人→10000人
食生活改善推進員の養成													
食生活改善推進員の伝達講習会													

栄養・食生活

項目	指標	達成率					備考	達成率	達成率
		栄養・運動・休養	食生活	食生活	食生活	食生活			
食生活改善推進員の活動を受ける人									
ヘルスポーター養成講習会開催市町村数									
市町村保健センターを整備している市町村									
科学的な情報を収集・蓄積・提供できる機関の整備									
意旨を実施する園及び学校の増加									
教育における食に関する指導員の割合									
行事食や家庭の味を伝えている人の割合									
産地、産地産品を利用する人の割合									
県内産物を使用した食品数									
3・3・30運動を知っている人の増加									
三食の食を自覚できる人の増加									
20歳代女性の骨量			27.3→15.0以下						
骨粗鬆症の予防に留意する者									
食生活の正常域の者の割合									
貧血者の減少							男148女100 20代女103 30代女109 40代男87女144 50代男187女46 60代男159女91 70代男271女121 1→各年代で現状の半減		
血清コレステロール高値者の減少 (240mg/dl以上)								男130女186→減少	
中性脂肪高値者の減少(150mg)								男399女349→減少	
高血圧(血圧SCORE2以上)者の割合						男21.0→19.0 女13.1→12.0			
高血圧の者									
高コレステロール(220mg/dl以上)者の割合									
高コレステロール(221mg/dl以上)者の割合						男22.0→20.0 女23.6→21.0			
脳血管疾患年齢調整死亡率の減少									
高血圧年齢調整死亡率の減少									
心疾患年齢調整死亡率の減少									
健康寿命の延伸									
40-64歳における生活習慣病死亡率の減少									
糖尿病年齢調整死亡率の減少									
高脂血症の減少								循環器病参照	
脳卒中死亡者の減少								循環器病参照	
心疾患死亡者の減少								循環器病参照	
糖尿病有病者の減少								糖尿病参照	
がん死亡者の減少								がん参照	
かかりつけ医による栄養・食生活に関する相談実施									
有人農産物直売所数									
省農産物等取扱店舗									

栄養・食生活

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	
①肥満者の割合	男20-60代 22.0-15.0以下 女40-60代 17.6-12.0以下	20-69男 23.0-15.0以下 40-69女 23.0-20.0以下	20-60歳代19.8-10.0以下 40-60歳代女16.0-10.0以下		20-60歳代男 26.3-15.0以下20- 40代女23.0-15.0 以下		男 21.4-15.0 以下女 13.1-10.0 以下	30-60歳代男 31.1-15.0以下 女 13.8-10.0以下	30-60歳代男 22.8-14.0以下 50-70代 28.2-22.0以下	不明→減らす	20-60歳男 25.4-15.0以下 女 29.2-20.0以下	20-69歳男26.9 40-69歳女 21.0-16.0以下			
肥満が気になる															
性・年齢階級別標準体重者の割合															
②摂取エネルギー量の減少	2.2-1.7以下	7.9-7.0以下	小中高調査中→30.0以上の減少		10.7-7.0以下				10.7-7.0以下	不明→減らす		7.8-7.0以下			
③やせ者の割合の減少	女20代 21.6-14.0以下		15-29歳女49.9-35.0以下					20代女 28.9-15.0以下	20代女 33.3-15.0以下	20代女 26.5-17.0以下		20代女 33.3-15.0以下			
④維持エネルギー・不足の減少	26.3-25.0以下	20-49歳 27.0-25.0以下 15-19歳 34.7-30.0以下	26.3-25.0以下	全世代25.4 20- 40代26.7-20.0 25.0	20-40代7.9-25.0 以下			27.5-25.0以下	20-40代 28.8-25.0以下		25.9-25.0以下	26.9-25.0以下			
脂肪エネルギー比率が適正な人の割合															
脂肪エネルギー比率が適正でない人の割合															
脂肪エネルギー比率が25%以上の者の割合															
脂肪エネルギー比率が90%を超えている人の減少															
2割以上エネルギーの過剰摂取をしている人の減少															
脂肪エネルギー比率20-25%の人の割合を増やす															
⑤1日あたり摂取エネルギー量の減少	12.6g-10.0g以下	12.5g-10.0g未満	12.8g-10.0g未満	全体13.0g成人 13.5g-10.0g未満	11.6g-10.0g未満			12.4g-10.0g未満			24.4→増やす	11.8g-10.0g未満	11.8g-10.0g未満		
食塩摂取量10g未満の人の割合															
食塩摂取量10g以上の人の割合															
食塩摂取量が90%未満の世帯を基に目標としている世帯の割合															
減塩に努めている人の割合															
減塩の普及、啓発を実施する市町村数の増加															
カリウム摂取量															
カリウム不足(35g未満)の人の割合															
1日に今より1gのカリウムを多くとる人を増やす															
鉄が足りない人(鉄充足率90%以下)の割合															
⑥カルシウムに基いた食品の摂取量の増加	牛乳・乳製品 139g-200g以上、豆類 69g-100g以上、緑黄色野菜 119g-120g以上	543mg-600mg以上	牛乳・乳製品104.2g-130g以上、豆類64.9g-100g以上、緑黄色野菜98.5g-120g以上	牛乳・乳製品 91.1g-130g以上、豆類 78.2g-100g以上、緑黄色野菜 87.9g-120g以上	牛乳・乳製品 106g-130g以上、豆類 62.2g-100g以上、緑黄色野菜 81g-120g以上			牛乳・乳製品 96g-130g以上、豆類 60g-100g以上、緑黄色野菜 99g-120g以上	牛乳・乳製品 102.6g-130g以上、豆類 76.2g-100g以上、緑黄色野菜 94.9g-120g以上			牛乳・乳製品 62g-130g以上、豆類 50g-100g以上、緑黄色野菜 67g-120g以上			
カルシウム摂取量															
カルシウム摂取量が適正である者															
カルシウム充足率															
カルシウム600mg以上取る人の割合を増やす															
カルシウム充足率60%未満の者の減少															
カルシウム不足の人の割合															
カルシウム不足世帯の減少															
1日カルシウム所要量を知っている															
緑黄色野菜を毎日摂取する者の割合															
緑黄色野菜不足(120g未満)の人の割合															
緑黄色野菜を食べよう心かかっている人の割合の増加															
緑黄色野菜のたん子予防効果を知っている者															
⑦野菜の摂取量の増加	292g-350g	284g-350g以上	291.5g-350g以上	277.2g-350g以上	253g-350g以上			284g-350g以上	274.8g-350g以上		242g-350g以上	245g-350g以上			
野菜の摂取量350g以上の者の増加															
野菜類の摂取が少ない人(350g未満)の割合															
野菜をたっぷり使った料理を1日2食以上食べる人の割合															
新鮮な野菜の摂取を増やす															
一日に二回以上野菜料理を食べる人の割合															
毎日野菜を摂取する子供の割合															
野菜類を食べない子供の割合															
果物類摂取量															
毎日果物を食べる人の割合															
毎日果物を食べない人の割合															
乳・乳製品の摂取量(1人1日当たりの平均)															
乳・乳製品を毎日摂取していない人の割合															
豆類摂取量															
ごはんなどの穀類をしっかり食べる人の割合															
米の摂取量の増加		178g-230g以上													
穀物の摂取量(1人1日当たりの平均)															
平均穀物エネルギー比															
魚介類を毎日食べる人の割合の増加															
魚介類の摂取量の増加		100g-115g以上													
新鮮で安全が保証された県産農水産物を食べる人の増加		40.7-50.0以上													
学齢期おやつエネルギー摂取															
エネルギー摂取量の充足率															
エネルギー充足率120%以上の者の減少															
エネルギー充足率110%以上の者の割合減少															
適正なエネルギーをとる															
動物性たんぱく質比															
たんぱく質摂取量(1日あたり所要量)の二倍															
食物繊維															
食物繊維を20g以上とる人の割合															
食物繊維摂取量を充足している世帯															
食物繊維のちがつん予防効果を知っている															

栄養・食生活

項目	単位	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢	性別	年齢
ビタミンA充足率60%未満者割合													
摂取量の減少	600kcal→500kcal以下												
※自分の適正体重を維持・増進するために必要な摂取量を満たさなかった者の割合の増加													
適正体重を知っている人の割合													
適正体重を維持する者の割合の増加													
体重計を保持している世帯の割合													
※材料の消費量の減少													
朝食を摂る人の割合													
週2回以上朝食を欠食する人の割合													
主食、主菜、副菜のそろった朝食を食べる人の割合													
※食生活改善者には、栄養素の摂取量の増加(特に食塩)は、健康に悪影響を及ぼす可能性があるため、食生活改善者の割合の増加は、食生活改善者の割合の増加に留意する													
量・質ともに適量にかたよった食事をとする者の割合の減少													
バランスの取れた食事(主食・主菜・副菜)を摂っている人の割合													
1日の食品数													
1日30食品を摂取する者													
毎日朝・昼・夕と三食をきちんと食べている人													
規則正しく食事をとる習慣のある人を増やす													
食事を規則正しく食べ、生活のリズムが正しい人の割合													
1日1回30分以上かけて食事をとする													
一日のうち主食・主菜・副菜のそろった食事を一回以上とっている人の割合													
きちんとした食事を一日最低一食とする者の割合の増加													
1日最低1食2人以上で主食・主菜・副菜を組み合わせたバランスのよい食事を30分以上時間をかけてとる者の割合													
1日1食家族等2人以上で食事をとる成人の割合													
家族や友人等2人以上での食事、楽しい食事をとする者の割合													
家族と食事をしている子の割合の増加													
週4日以上家族と食事をとする者の割合													
食の楽しみや食卓でのコミュニケーションを通して、生活の質の向上や朝夕食習慣を促す人の割合													
夕食を30分以上かけてとる者の割合													
夜9時までに食事をとする													
自分で選んだり整えたりできる													
自分で栄養バランスがとれた料理がつくれる													
間食を1日1回以上食べる人の割合の減少													
閉鎖しなから楽しい食事をとする人の割合													
家族や仲間と一緒に食事をとする													
食事が楽しい													
楽しくゆっくりと食事をとることをこころがけている方の割合													
よく噛んでゆっくり食事をとする者の割合													
間食でとる1日あたりの摂取量													
食べすぎ欠食をなくす													
欠食習慣化の者の割合													
※自分の適正体重を維持・増進するために必要な摂取量を満たさなかった者の割合の減少													
栄養改善が意欲がある													
健康や食生活をよりよくすることを普段から意識する人の割合													
カロリーや塩分摂取量に注意している者													
体調管理などのために気をつけて食事をとする者の割合													
栄養のバランスに気をつけている人の割合の増加													
食事への配慮のある者の割合													
栄養バランスを考慮して外食や弁当を選ぶ人													
動物性脂肪を多く含む食品のとりすぎに注意する人の割合の増加													
牛乳類・小魚・大豆製品を食べるように心がける人の割合の増加													
とんかつを食べるとき副食を添える人の割合													
夕食の内容を考え調理方法を工夫する人の割合													
菓子を食事代わりにしている													
好き嫌いをする子供の割合													
食品の組み合わせを考える者の割合													
健康づくりのために栄養や食生活について考える人の割合													
自らの生活リズムや環境に配慮した適正な食事の作り方、摂り方が実行できる													
※加工品や惣菜の栄養成分表示を利用する者の割合													
栄養成分表示を知っている人の割合の増加													

栄養・食生活

項目	実施内容	実施回数	実施期間	実施場所	実施対象	実施内容	実施回数	実施期間	実施場所	実施対象	実施内容	実施回数	実施期間	実施場所	実施対象
栄養成分表示がされた食品の利用者の数					不明→増加方向で推移										
栄養成分表示がされた食品の数の増加	不明→未設定														
栄養成分表示を食事の選定に利用する人の増加															
集団・多人数施設のうち栄養所等での栄養成分表示の増加															
食品を過剰に消費を懸念するに因らない知識や技術がある人の増加															448→600以上
食品売場で食品選択情報を提供する食品販売業者数															
外食料理栄養成分表示店の増加	130店→3000店以上				73店→500店以上						不明→増加方向で推移				79店→増加
自分の適量摂取を維持するなどの栄養知識を習得している者の割合の増加	男561女634→800以上														
自分にとって適切な食事内容・量を理解している者の割合の増加															
標準体重に近づけるよう、あるいは維持しようとしている人の割合の増加															
自分の栄養所要量を知っている人の割合の増加															
ヘルシーメニューを積極的に利用する者の割合の増加	不明→未設定														
栄養表示店舗数															
ヘルシーメニュー、男子料理、栄養成分表示の提供の増加															
ヘルシーメニューを提供している弁当・惣菜店の割合															
職場等における給食施設において健康に配慮した食事を提供する施設の健康づくり協力店															3500店→10000店
外食選択基準の提供数の増加と利用の促進															
栄養成分表示に協力する施設を増や															76→増加
栄養成分表示をした施設を利用する人を増やす															不明→増加
全飲食店の200以上を外食栄養成分表示店とする															17ヶ所→200以上
料理の栄養成分表示及び健康に配慮した食事を提供するレストランや食堂の数															
食生活・食生活(特に過食)に関する健康教育を実施している市町村の増加															
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の開催市町村															
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の参加者数															
健康や栄養に関する学習の場(健康教室等)の提供の機会															
学習機会に参加する人の割合	275406人→未設定														
学習機会の回数	13680回→未設定														
市町村保健センター(類似施設を含む)整備市町村数															
広報紙などによる栄養・食生活に関する啓発をする市町村															
喫煙者への栄養・運動指導実施回数															
教育における食に関する指導の割合															
食生活に関する学習の機会を増やす															不明→増加
食品に関する情報提供機会の整備、利用者の数															不明→増加
食生活や栄養に関する相談の場を提供している市町村数															
専門家による栄養指導を受けたことのある人															
栄養相談のできる市町村数															
健康・食生活に関する学習の場(健康教室等)の開催市町村	各市町村に1→各市町村に2以上														
健康づくりボランティア団体の市町村組織結成数															
食のNPOの配備															4700人→10000人以上
健康に関する自主的な集まりがある人の割合															
県の員弁を支えた食生活を次代へ伝える機会と協力団体の数、参加者の数															
健康づくりのための食生活住民ボランティア団体数の増加															今後把握→各市町村に設置または増加
健康や栄養に関する学習や活動を進める自主グループに参加する人の増加															
健康に対して関心のある人の割合															
健康に関する情報を収集する人の割合															
健康づくり講座等に参加する人の増加															
市町村栄養士の配備															66→200以上
連携給食施設栄養士の配備率															55市町村→78
その他の給食栄養士の配備率															
全集団給食施設への管理栄養士の配備	24.2→100.0														
母子保健推進員															
市町村保健員															
健康推進委員の増加															3956人→700人以上の増加、7000人以上
食生活改善推進員団体連絡協議会の会員数の増加															
食生活改善推進員を配置する市町村数の増加															37市町村→47市町村
食生活改善推進協議会を設置する市町村数の増加															
食生活改善推進員の数															
食生活改善推進員の養成	3347人→7000人以上														
食生活改善推進員の伝達講習会															

栄養・食生活

項目	数値	単位	注	栄養・食生活の改善	食生活と栄養	食生活と健康	健康増進	健康	健康	健康
食生活改善推進員の活動を受ける人										
ヘルスサポーター養成講習会開催市町村数										
市町村保健センターを整備している市町村										
科学的な情報を収集・蓄積・提供できる機関の設置										
食育を推進する園及び学校の増加	02→50.0以上									
教育における食に関する指導校の割合										
行事食や家庭の味を伝えている人の割合										
昼食にて地域産品を利用する人の割合										
県内産物を使用した食品数										
3・3・30運動を知っている人の増加										
三重の食を自慢できる人の増加	不明→30.0以									
20歳代女性の骨量										
骨粗鬆症の予防に留意する者										
骨密度の正常域の者の割合										
貧血者の減少								女17.5高齢者 14.6→10.0以下		
血清コレステロール高値者の減少(240mg/dl以上)										
中性脂肪高値者の減少(150mg)										
高血圧(血圧スコア2以上)者の割合										
高血圧の者										
高コレステロール(220mg/dl以上)者の割合										
高コレステロール(221mg/dl以上)者の割合										
脳血管疾患年齢調整死亡率の減少	男84.69女 53.79→減少									
高血圧年齢調整死亡率の減少	男3.75女2.89→ 減少									
心疾患年齢調整死亡率の減少	男93.34女 52.65→減少									
健康寿命の延伸	不明→増加									
40-64歳における生活習慣病死亡率の減少	247.3→減少									
糖尿病年齢調整死亡率の減少	男8.61女5.57→ 減少									
高脂血症の減少	男12.2女14.1→ 減少									
脳卒中死亡者の減少										
心疾患死亡者の減少										
糖尿病有病者の減少										
がん死亡者の減少										
かかりつけ医による栄養・食生活に関する保健指導										
有人農産物販売所数										
有機農産物等取扱店舗										

栄養・食生活

項目	健康調査の結果												栄養・食生活と身体活動・運動
	学童生活	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	健康調査の標準値	20-29歳	30-39歳	40-49歳	
肥満率の減少	不明→減少	20-60代男 29.0→15.0以下 40-60代女 28.3→20.0以下	男20-69歳 36.0→10.0減 40-69歳 28.6→10.0減	20-60代男 25.2→15.0以下 60代女19.2→17.0以下	20-60代男 21.4→15.0以下 40-60代女 21.2→15.0以下	男17.1→15.0女 11.2→10.0 40-50 代男25.9→21.0女 16.0→13.0	男20-60代 27.5→20.0以下 女40-60代 21.5→15.0以下	男20-60代 39.9→15.0以下 女40-60代 32.8→20.0以下	男20-60代 24.8→15.0以下 40-60代 19.3→15.0	25.0→10.0	男20-60代 29.4→15.0以下 女40-60代 24.4→20.0以下	20-60男47.4→25.0 40- 60女45.7→25.0	
肥満が気になる	22.0→減少												
性・年齢階級別標準体重者の割合													
の消費・生活の肥満率の減少	小学2・13中学 0.74高校0.55→ 減少		不明→半減			小学男2.54女1.60 中学男1.48女1.11 高校男1.87女 2.63→減少		不明→減少	11.8→7.0以下		中1年10.2→7.0 以下	未調査→減少	
BMIの割合の減少	BMI18.5未満 16.5→減少	20代女 26.3→15.0以下	女20代・10.0 70 以上半減	20代女20.2→15.0 以下	20代女 23.1→15.0以下		女20代 20.1→15.0以下	不明→未設定	男15-19歳 20.7→15.0女 20代 21.7→15.0		女20代 21.7→15.0以下	15-19歳20-29歳女 26.9→減少	
の摂取エネルギーと標準の減少	25.9→25.0以下	20-40代 26.9→25.0以下	20-59歳25.0以下 増量生徒27.0以 下	20代30.5 30代27.3 40代25.5→25.0以 下	20-40代 28.1→20.0-25.0	24.7→20.0-25.0に 保つ	20-40歳代 24.1→25.0以下	20-40代 26.1→25.0以下	20-40代 27.6→25.0		20-40代 26.5→25.0以下	全年齢31.0 7-14歳32.9 15-19歳31.8→20.0-25.0	
脂肪エネルギー比率が適正な人の割合													
脂肪エネルギー比率が適正でない人の割合											40.0→20.0		
脂肪エネルギー比率が25%以上の者								38.0→30.0					
脂肪エネルギーが30%を超えている人の減少													
2割以上エネルギーの過剰摂取をしている人の減少													
脂肪エネルギー比率20-25%の人の割合を増やす													
の1日の平均摂取量と標準の減少	12.2g→10.0未満	12.1g→10.0g未 満	10.0g未満	11.9g→10.0g未 満	12.6g→10.0g未 満	12.1g→10.0g以下	13.6g→10.0g未 満	12.3g→10.0g以 下	13.1g→10.0g		12.1g→10.0g未 満	15-70歳代男10.6g→9.0g	
食塩摂取量10g未満の人の割合													
食塩摂取量10g以下の人の割合													
食塩摂取量10g以上の人の割合										63.0→30.0			
食塩摂取量が10gを超えている世帯						59.3→50.0 男52.1女							
食塩の摂取量を減らしている世帯													
減塩に努めている人の割合			増加										
減塩の普及、啓発を実施する市町村数の増加													
カリウム摂取量													
カリウム不足(35g未満)の人の割合											62.0→50.0		
1日に今より1gカリウムを多くとる人を増やす													
鉄が足りない人(鉄充足率90%以下)の割合											41.0→20.0		
の1日の平均摂取量と標準の増加	緑黄色野菜 13.5g→20.0g以 上		牛乳・乳製品180 g以上、豆類100g 以上、緑黄色野 菜120g以上	牛乳・乳製品 176.6g→130g以 上、豆類 68.8g→100g以 上、緑黄色野菜 107.2g以上			牛乳・乳製品 132.5g→200g以 上、豆類 83.6g→100g以 上、緑黄色野菜 86.2g→120g以 上	牛乳・乳製品 95g→130g以 上、豆類 87g→100g以 上、緑黄色野菜 100g→120g以 上			牛乳・乳製品 92g→130g以 上、豆類 70g→100g以 上、緑黄色野菜 93g→120g以 上	牛乳・乳製品186g→180g 豆類74.0g→100g、緑黄 色野菜97.0g→120g	
カリウム摂取量													
カリウム摂取量が適正である者													
カリウム充足率													
カリウム600mg以上取る人の割合を増やす													
カリウム充足率90%未満の者の減少			女20-50代 48.3→30.0未満										
カリウム不足の人の割合									59.7→30.0		38.0→20.0 充足率90% 以下		
カリウム不足世帯の減少													
1日カリウム摂取量を知っている	27.0→50.0												
緑黄色野菜を毎日摂取する者の割合						39.2→50.0			45.7→75.0				
緑黄色野菜不足(120g未満)の人の割合											70.0→35.0		
緑黄色野菜を食べるように心がける人の割合の増加													
緑黄色野菜のかん予防効果を知っている者							男63.6女 78.4→80.0						
の野菜の摂取量の増加	231.3g→350g以 上	273g→350g以 上	350mg以上児童 生徒300g以上	264.8g→350mg以 上	298g→350g以 上		241.1g→350g以 上	301.6→350g以 上			296g→350g以 上	232.7g→350g	
野菜の摂取量350g以上の者の増加													
野菜類の摂取が少ない人(350g未満)の割合											63.0→30.0		
野菜をたっぷり使った料理を1日2食以上食べる者の割合													
新鮮な野菜の摂取を増やす													
1日に二回以上野菜料理を食べる人の割合													
毎日野菜を摂取する子供の割合													
野菜類を食べない子供の割合						3歳男20.2女 15.9→10.0以下							
果物類摂取量													
毎日果物を食べる人の割合			増加										
毎日果物を食べない人の割合											36.0→15.0		
乳・乳製品の摂取量(1人1日当たりの平均)							140g→200g						
乳・乳製品を毎日摂取していない人の割合											60.0→30.0		
豆類摂取量													
ごはんなどの穀類をしっかり食べる人の割合			増加										
米の摂取量の増加													
穀物の摂取量(1人1日当たりの平均)							263g→330g						
平均穀物エネルギー比													
魚介類を毎日食べる人の割合の増加													
魚介類の摂取量の増加									20代不明→60g 以上				
新鮮で安全が保証された県産農水産物を食べる人の増加													
学齢期あやつエネルギー摂取													
エネルギー摂取量の充足率	103.2→100.0						105.0→100.0						
エネルギー充足率120%以上の者の減少		27.4→20.0未満											
エネルギー充足率110%以上の者の割合減少											39.0→20.0		
適正なエネルギーをとる										52.5→35.0			
動物性たんぱく質比							51.8→40.0-50.0に 保つ						
たんぱく質摂取量(対1日あたり所要量)の摂取							121.0→100.0						
動物性たんぱく質			20g以上										
食物繊維を20g以上とる人の割合											54.0→75.0		
食物繊維摂取量を充足している世帯													
食物繊維のむつがかん予防効果を知っている							5.4→増やす 男59.0女 72.1→80.0						